



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 中村 雅典
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



巻頭言

歯学部長 宮崎 隆

平成29年度昭和大学入学式が、去る4月12日(水)午前10時より明治神宮記念館に於いて厳粛に執り行われました。東京は前日雨が降り冬に戻ったような寒さでしたが、当日は晴天に恵まれ、明治神宮の杜は常緑樹に混じって楓や櫟の新緑が爽やかでした。今年度の新生は、医・歯・薬・保健医療学部合わせて、580名(編入生を含む)で、会場は新生とご家族、昭和大学教育職員等で二階席まで埋め尽くされました。



昭和大学管弦楽団による演奏に引き続き、小出良平学長から、大学の歴史と現況の紹介があり、全寮制と4学部8附属病院の恵まれた環境のなかで医療人として成長してほしいとの告辞がありました。小口勝司理事長からは、昭和大学のファミリーとして新生を歓迎するとともに、知識・技能・態度だけでなく、寮生活を通じて他人への思いやりと優しさを学んで医療人の心を身につけて欲しいとの祝辞がありました。新生代表の歯学部 相良美奈翠さんのリードで、新生ならびに昭和大学関係者全員で昭和大学宣言を唱和し、引き続き校歌を斉唱し、入学式を閉会しました。



新生歓迎行事実行委員の歓迎の挨拶に引き続き、メディカル・オールスターズによる歓迎の演奏とアカペラ部による歓迎の歌が披露され、出席者一同聞き惚れました。最後に恒例の応援指導部による新生歓迎演武があり熱気のなか歓迎プログラムを終了しました。

引き続き学校法人昭和大学の内田 樹理事による特別講演があり、医療人の資質として直観力を養う必要性と、寮生活を通じて他人とのコミュニケーションだけでなく一人で自然と向き合うことの重要性が強調されました。新生は家族に見送られ、バスに分乗して、富士吉田校舎に向かいました。

入学式の翌日には昨年完成した富士吉田スクエアガーデンで入寮式が開催されました。当日は雪をか

ぶった霊峰富士山が神々しく聳え、学生も気持ちを新たにしたいと思います。式典に続き小出学長と小口理事長からアイデンティティーに関する講義がありました。スクエアガーデン正面の噴水を囲んで記念写真をとりました。



引き続き各学部に分かれて学部長から講義を行いました。超高齢社会に突入した我が国では、高齢者の長寿健康に貢献できる資質の高い歯科医師を育成することが求められています。本学はこれに対応するために、組織の改変や教育改革を進めてきましたが、本学の最大の特徴である富士吉田校舎での全寮制によるチーム医療教育はその出発点として非常に重要です。新生が、学友との共同生活を通じて富士吉田校舎で多くの経験を積んで、大いに成長することを期待しています。



行事予定

広報委員長 中村 雅典

5月27日(土): 旗の台校舎公開講座

5月28日(日): 学祖祭

6月 4日(日): 富士吉田オープンキャンパス

6月10日(土): 父兄会総会

大学院入学式が挙行されました

歯学研究科運営委員長 山本 松男

平成29年度大学院入学式が4月8日(土)に上條講堂において、医歯薬保の4研究科合同で開催されました。歯学研究科は一般選抜21名、社会人特別選抜5名の合計26名が入学しました。その後、場所を2号館第3講義室に移動して、入学者および今年度から「マルチドクタープログラム」を受講する2名の学部学生を対象にオリエンテーションを行いました。宮崎歯学研究科長より入学歓迎の祝辞の他に歯学研究の意義や開始するにあたっての心構えに関するお話をいただきました。つづいて山本歯学研究科運営委員長から、研究倫理の順守および単位取得における注意事項などの説明、英語の授業の概要と注意点の説明をしました。英語の授業は、昨年度から引き続いて薬学研究科大学院生も含めた歯・薬学研究科の混成のクラス編成での実施になっています。新入学の諸君が優れた研究を行って、本学歯学部の研究活動を推進するとともに歯科医学の発展に貢献するよう願っています。



昭和大学入職式が行われました

歯学部長 宮崎 隆

学校法人昭和大学平成29年度入職式が、4月1日午前10時から明治神宮会館で開催されました。今年の東京は3月下旬から寒い日が続き桜の開花が遅れていました。当日はあいにく小雨がぱらつき寒い日でしたが、神宮の杜は厳肅な雰囲気にも包まれていました。本年度採用された新入職員は、教育職員209名、内科研修医39名、研修医(医学部)93名、研修医(歯学部)87名、事務職員47名、看護師・助産師423名、薬剤師レジデント42名、その他の医療技術系職員57名(歯科衛生士5名、歯科技工士1名を含む)の合計995名でした。会場は二階席も所属長や父母で埋め尽くされました。

式典は昭和大学管弦楽団の演奏で厳かに開式しました。法人役員が登壇し、最初に小口勝司理事長

から「本学は社会に貢献するすぐれた医療人を育成する大学なので、全ての新入職員が職種を問わず医療人として自己研鑽につとめ医療を通じて社会に貢献するとともに、学生や後進の教育にも責任を持って欲しい」と訓示がありました。引き続き小出良平学長から、本大学の歴史と特徴が紹介され、至誠一貫と



昭和大学宣言を常に念頭において勤務するようとの挨拶がありました。小口理事長から新入職員代表の山田愛海さん(看護師)に辞令が交付され、山田さんが新入職員宣誓をしました。芦刈雄希さん(事務職員)のリードで参列者全員が昭和大学宣言を唱和し、引き続き校歌を斉唱しました。今年度は新入職員を歓迎して、プロのグループ VIC:CESS による歌とダンスのパフォーマンスがあり、会場内が和やかな雰囲気につつまれたなか11時に閉会しました。

その後、昭和大学の名前が入った入職記念のタオルを手元で掲げながら全員で記念撮影をしました。新入職員におかれましては、それぞれの職場で、同僚・上司の指導のもと、本学の発展のために鋭意努力されますようお願い申し上げます。



昇任・採用

広報委員長 中村 雅典

柳澤伸彰講師(口腔解剖学講座)
大塚裕忠講師(口腔解剖学講座)
藤川芳織助教(口腔解剖学講座)
刑部 月助教(口腔ケアセンター)

白衣授与式 進級式が行われました

教育委員長 美島 健二

平成29年度昭和大学歯学部白衣授与式は3月24日(金)の午前9時45分より上條講堂で開催されました。本年度は85名の新5年生が真新しい白衣に袖を通すことになりました。小口理事長、小出学長のご臨席を賜り、臨床実習責任者の長谷川教授の司会・進行のもと授与式が執り行われました。まず、美島教育委員長の開式の辞により開催が宣言され、校歌斉唱と進み、宮崎歯学部長から、本授与式が臨床実習参加に必要なStudent Doctorとしての認証式として大切な意味を持つ旨お話しがなされました。その後9名の臨床系教員から学生に順次白衣の授与が行われましたが、学生達は皆、真剣な面持ちで望んでいました。続いて小出学長、榎歯科病院長、相澤歯科病院看護師長からの暖かな御祝辞を賜り、臨床研修を終えた先輩として岡本志奈先生から学生へのアドバイスがなされました。次いで、新5年生の大竹開さんの発声に続き、出席者全員が声を合わせて昭和大学宣言を読み上げました。最後に、上條学生部長による閉式の辞のあと閉会となりました。その後、晴天の中、上條講堂前で記念撮影が行われました。御父母の方々も多数出席され、学生達は臨床実習前の1つの区切りとして気持ちを新たにしたいことでしょう。新5年生の皆さんが積極的に臨床実習に参加し、歯科医療人として大きく成長していく事を期待しております。



台北医科大学を訪問しました

歯学部長 宮崎 隆

去る3月29、30日に、台北医科大学を訪問しました。同大学は台湾の台北市中心のランドマークタワーである台北101の近くのキャンパスを本拠地とする医系総合大学です。1960年に医学部、歯学部、薬学部でスタートしましたが、年々発展して現在では医療系10学部、3つの附属病院(3000床強)を有する大きな大学に成長しています。現在歯学部と医学部が学部間交流プログラムを締結しており、近年医学部が臨床実習生の定期的な交換をしています。今回、歯学部の継続調印と薬学部の新規調印のために、薬学部の板部教授と一緒に訪問しました。台北医科大学は大学全体で国際交流に力をいれており、協定校は世界中に140校あり、毎年400名の学生

が選択実習や研究で海外に出ています。今回薬学部に関しては具体的な学生交換の日程調整まで話が進みました。

歯学部(口腔医学院)には、いわゆる歯科医師養成の歯学科のほかに、台湾で初めての歯科衛生士ならびに歯科技工士養成の学科と、生体材料・組織工学研究所があります。歯学部長に、台北医科大学を卒業後、30年以上米国ニューヨークのコロンビア大学で活躍していた旧知の王大源教授が就任しました。王学部長は、歯学部の臨床施設の充実にも力を入れる方針で、医科病院との連携や新しい歯科クリニックの開設に取り組むと話していました。歯学部においても、医学部・薬学部に負けずに、定期的ならびに実質的な学生交流を進めたいと考えています。



至誠塾修了式が開催されました

歯学部長 宮崎 隆

平成28年度昭和大学至誠塾(7回生)修了式が、3月15日(水)午後6時から1号館5階カンファレンスルームで開催されました。至誠塾は学校法人昭和大学の発展のために、教育職員だけでなく全ての職員を広く求めて、大学の経営や運営に関わることを広く学ぶ場として平成21年に開塾されました。修業年限は2年間で、1年目は講義および討論形式で実施され、2年目はテーマ別研究および発表形式で実施されます。塾長である小口理事長から7回生14名に修了証が授与され、修了生が各部署のリーダーとして大学の発展に努めてほしいと力強い告示がありました。一同で昭和大学宣言と校歌斉唱をして閉式しました。今回歯学部からは栗原祐史先生(口腔外科学講座顎顔面口腔外科学部門)が修了証を授与されました。修了生が丸となって本学の発展のためにそれぞれの立場で貢献されますようお願い申し上げます。



至誠塾入塾式が開催されました

歯学部長 宮崎 隆

去る4月5日(水)午後6時から、旗の台校舎1号館5階カンファレンスルームにおいて、平成29年度至誠塾の入塾式が開催されました。今年の新入塾生は9回生で、教育職員、事務職員および看護師ほかの医療職に従事している16名の新入塾生を迎えました。歯学部関係では、歯科補綴学講座の田中晋平講師と口腔生理学講座の望月文子助教が入塾しました。



至誠塾は小口勝司理事長の発案で、将来の学校法人のリーダー育成のために設置されました。2年間のコースで、1年目は学務、病院、法人の管理運営全般に亘り、毎週水曜日に講義とグループ討論を通じて、塾長の小口理事長、ならびに副塾長(小出学長ほか)の先生がたから直接指導を受けます。式典では小口塾長から、本学校法人ならびに大学の本質は社会に貢献できる優れた医療人の育成にあるので、くれぐれも本質を見失わないで多くのことを学び議論して欲しいと挨拶がありました。2年目は各自の研究テーマを決めて1年間でプロダクトをまとめます。すでに多くの修了生が本学の各職場で活躍しています。

入塾式終了後、会場を喫茶アミに移し、2年生に在籍の8回生を交えて歓迎会を開催し、懇親を深めました。毎週水曜日の夜に、日常業務のあとに慣れないテーマを学習するのは大変ですが、最後まで頑張っ



富士吉田教育部兼務教育職員に就任しました

口腔生理学講座 中村 史朗

本年度より前任の河野葉子先生の後を引き継ぎ、富士吉田教育部兼務教育職員に就任いたしました。昨年に続き担当される歯科薬理学講座の高見正道教授にご指導いただきながら精一杯務めてまいります。早速、4月6日に富士吉田教育部教育委員会、4月7日に富士吉田教育部教授総



会に出席しました。会議では、次週に行われる入学式、入寮式、オリエンテーションのスケジュールの詳細等、多くの議題が報告・協議されました。教授総会の後、歓迎会が催され、富士吉田教育部の先生方と大いに懇親を深めることができました。4月12日には入学式が明治神宮会館で行われ、式に参加しました。新入生は緊張と不安と期待の入り混じった表情で、小出良平学長や小口勝司理事長のお話に耳を傾けていました。

これまで1年次学部連携PBLや初年次体験実習で富士吉田での1年次教育に携わってきましたが、その関わりは部分的なものでした。今回、このような任務に携わることで、富士吉田での初年次教育の理念と重要さを学ぶとともに、初年次教育と2年次以降の教育との架け橋になれるよう努力していきたいと思っております。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。



編集後記

歯科薬理学講座 坂井 信裕

年度始めのお忙しい時期にも関わらず、ご寄稿下さいました諸先生方には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。